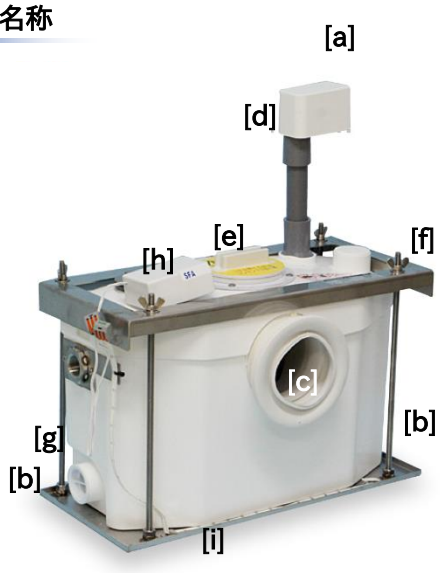
汚水 180NA　施工説明書

本書は設置施工後、お客様へお渡しください。

1.各部名称



[a] 吐出管接続口　（25A）
[b] 雑排水管接続口（40A）プラグにて閉止
[c] 汚水管接続口　（75A）
[d] 通気管接続口（20A・キャニスタ S）
[e] 点検口　　（異物除去用掃除口）
[f] 蓋開閉用固定金具・蝶ナット
[g] 電源コード（2 極接地極付差込プラグ）
[h] 満水センサー
[i] 漏水検知帯

2.付属品

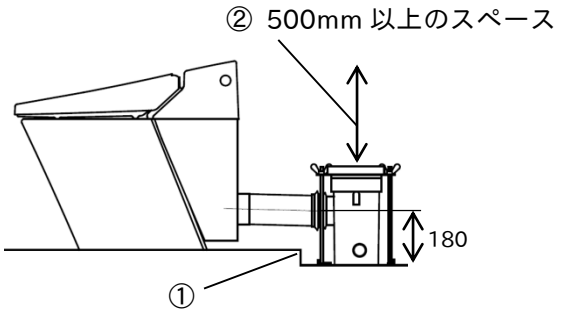
[j]　フレキゴムジョイント 40　× 2 個
[k]　ホースバンド 40-60　　× 4 個
[l]　ホースバンド 80-100　　×1 個
[m]　警報盤　　×1 個
取扱説明書/保証書
施工説明書（本書）/警報盤の施工方法

3.配管施工例

4.本体の設置

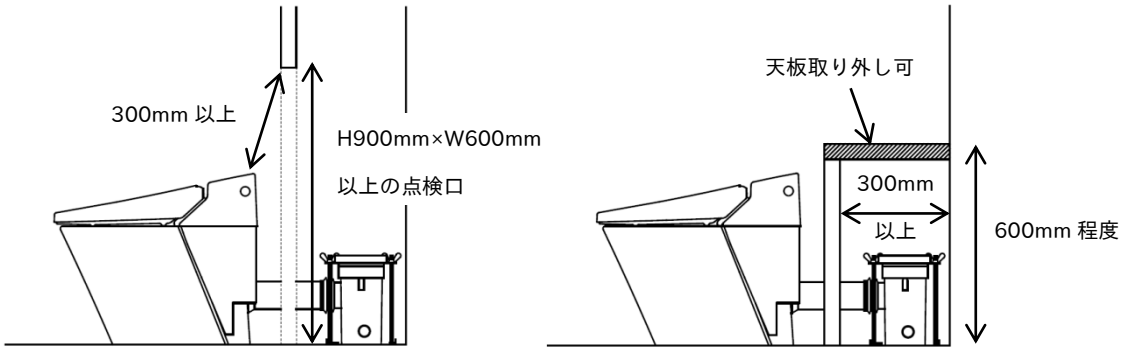
①便器の排水高寸法を確認し、便器とポンプ間を VP 管などで接続する場合は、ポンプ設置床を落とし込むなど 1/100 以上のこう配が取れることを確認してください。

②ポンプユニット上部には 500mm 以上のメンテスペースを確保してください。

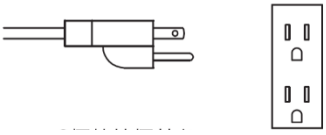


③ポンプユニットは水平に設置し、必要に応じて本体トレーをビス等で固定してください。

④ポンプユニットを隠蔽する場合は**メンテナンススペースを確保し、必ず点検口を設けてください**。
点検口の寸法は下図を参考にしてください。



⑤電源プラグは 2 極接地極付差し込みプラグです。専用回路にて接地極付コンセントを用意してください。
また専用の漏電ブレーカーを設置してください。



⑥大便器のうち以下に該当する種類は、接続することはできません。

・洗浄水量 6L 未満の大便器
・フラッシュバルブ式の大便器
・泡洗浄による自動洗浄機能付き大便器（例．アラウーノ）

ご注意！
洗浄水量が少ない節水型の大便器は、排水管内で詰りが生じることがありますので、洗浄水量 8L 以上の大便器をお勧めしています。洗浄水量 6L 未満の大便器（通称、節水型大便器）でも洗浄水量を変更できるものがあります。洗浄水量の変更方法は、製造者の施工説明書や取扱説明書などでご確認ください。

5.吐出管の配管方法

吐出管接続口[a]は内ねじです。20A のおねじ継手を接続してください。

吐出管にはボールバルブまたはスリースバルブを必ず取り付けて下さい。

（試運転調整やメンテナンス時などに必要となります。）

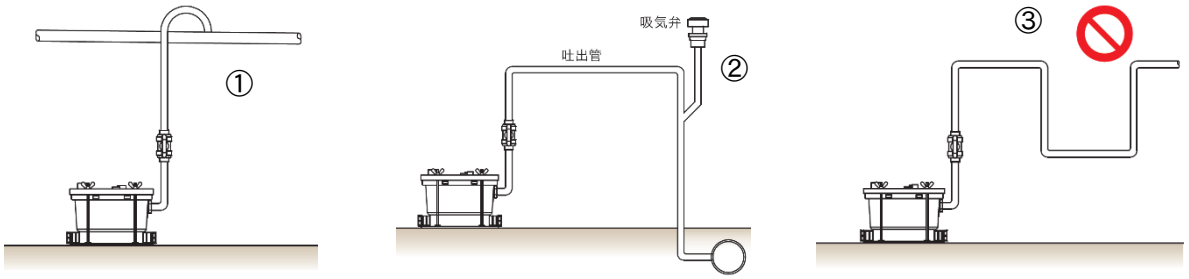
逆止弁はユニットに内蔵されているため、吐出管への取り付けは不要です。

ご注意！

①横引き管に接続する際は上部より接続してください。

②吐出管を設置レベルより下げる場合はサイフォン現象を防ぐために適切な場所に吸気弁を設けてください。

③吐出管は鳥居配管にならないように施工してください。



6.排水管の配管方法

6-1．雑排水管の接続

雑排水管接続口［b］のプラグに付いている▲印を上にして引き抜きます。

フレキゴムジョイント 40[j]のツマミがある側を根元まで差し込み、VP40A を差し込み、ホースバンド 40-60[k]で締め付けてください。

6-2．汚水管の接続

雑排水管接続口[c]に便器排水口または VP75A を差し込み、ホースバンド 80-100[l]で締め付けてください。

ご注意！

①器具からポンプユニットまでの配管は適切な勾配（管径 65A 以下　1/50 以上）で配管してください。

②流入管内に汚物が残り詰まりの原因となることがありますので、汚水の流入管は、全長 3m まで、曲がり（90˚エルボ）は 2 個までとしてください。

③ピットに設置する場合など流入管の高低差が 1m 以上ある場合は、本製品直近の流入管にバルブ（ボールバルブもしくはゲートバルブ）を施工してください

7.通気管の配管方法

通気管接続口[d]に VP20A を接続し、便器あふれ縁より＋100mm の位置にキャニスタ S を取り付けてください。キャニスタ S を使わない場合は、通気管端部は外気開放とし、ポンプユニットから 500mm 以内にユニオンを設置して脱着ができるようにしてください。

（試運転調整やメンテナンス時などに必要となります。）

ご注意！

ポンプユニットには吸排気が必要のため、吸気弁（ドルゴなど）の使用はできません。

8.警報盤の施工

別添の「警報盤の施工方法」を参照ください。

9.試運転

9-1.ポンプの試運転

・通電されていることを確認し、バルブを全開にします。

・大洗浄にて運転と停止を確認してください。配管接続部などからの水漏れがないことを確認します。
トイレットペーパーを投入し、１回の大洗浄で便器内から排出されることを確認します。

9-2.警報機能の確認

・ポンプの電源プラグを抜き、満水テスト（ポンプ内水位 200mm 前後）を実施し、正しくアラームが発報されることを確認します。電源を投入しポンプを作動させ、アラームが消えることを確認します。

・漏水検知帯に水を付着させ、正しくアラームが発報されることを確認します。付着させた水を拭い、アラームが消えることを確認します。

10.異物除去の手順

ご注意！
事故防止の為に必ずコンセントを抜いてください。
必ず保護具を着用し、素手でカッター部に触れないでください。

① 点検口【e】を左に回し外します。

② 点検口直下に、汚物粉砕用の回転式カッターがあります。

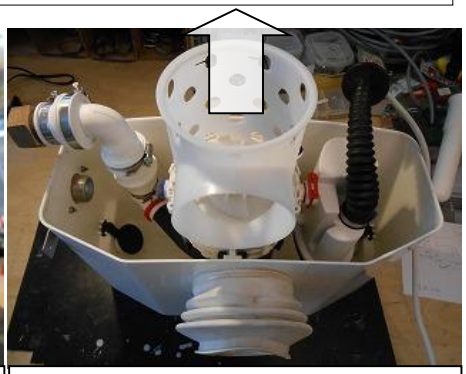
③ ラジオペンチ等の道具で混入した除去して下さい。

11.ポンプアッセンブリの脱着

ご注意！　事故防止の為に必ずコンセントを抜き、吐出管バルブを閉止して作業してください。

①吐出管袋ナットをウォータープライヤで緩め外します

②電源コードのゴムフランジをケースの外から中方向へ押して外します



③ポンプアッセンブリを上方向に取り出します

①防振ゴムをガイド溝に合わせて取り付け､水平なっていることを確認します

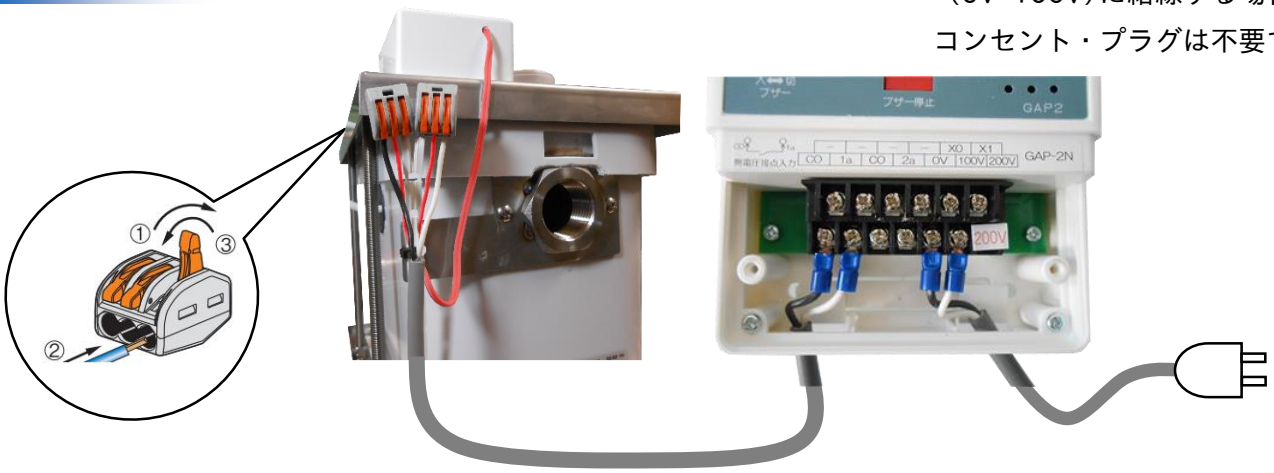
②吐出管袋ナットをウォータープライヤで適切に締め付けます

③パッキンは蓋に装着してください

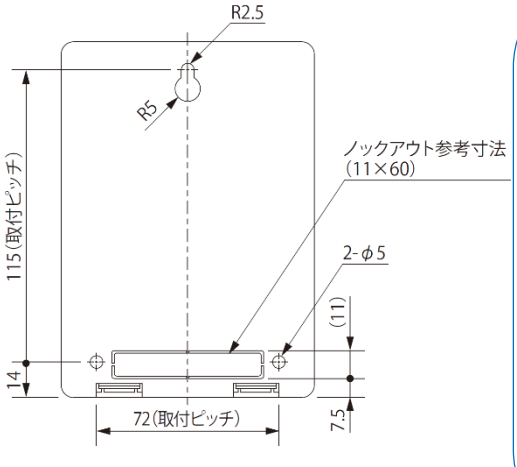
警報盤の施工方法

1.結線実態図

電源線を直接警報器内の端子（0V･100V）に結線する場合は、コンセント・プラグは不要です。

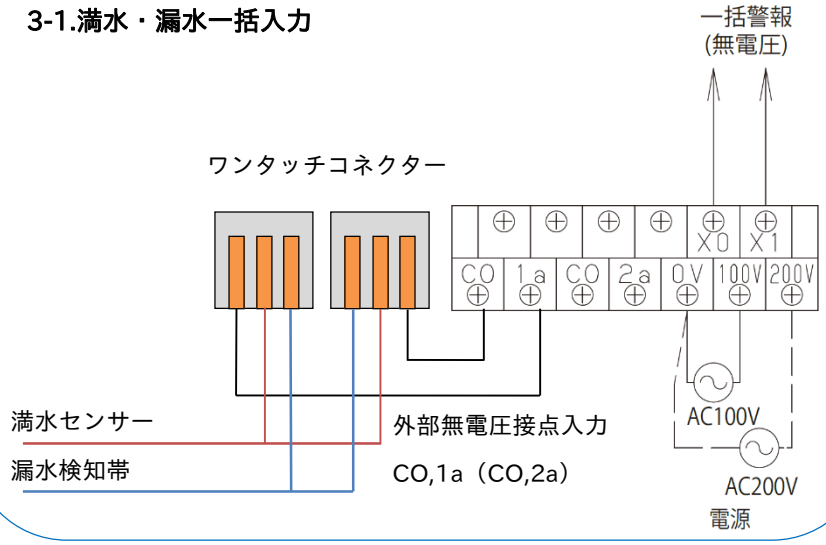


2.取付寸法　（単位：mm）

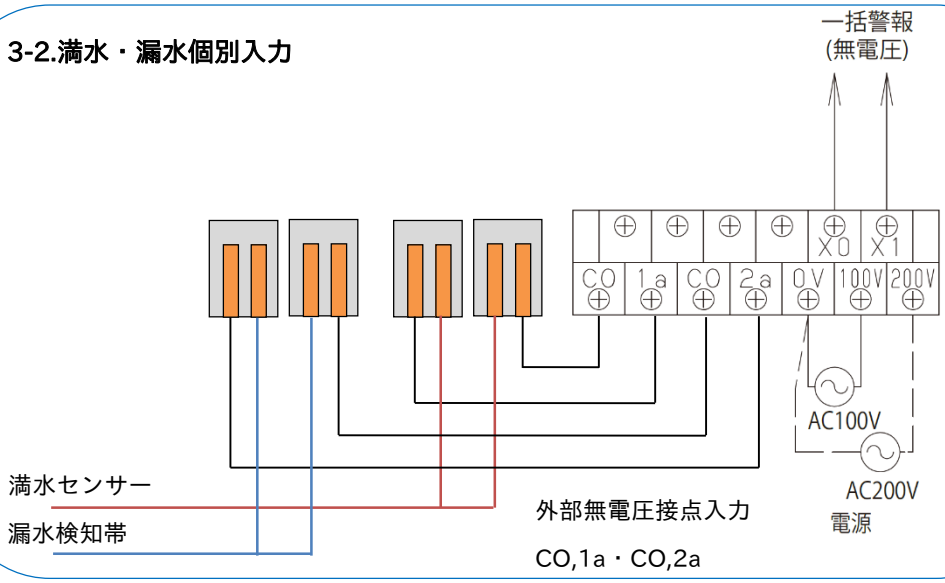


3.結線図

3-1.満水・漏水一括入力



3-2.満水・漏水個別入力



有限会社スマートポンプジャパン　https://www.smartpump.jp/
東京都世田谷区北沢 3-2-16　TEL:03-5738-7440　FAX:03-5738-7441